



EON 208P PORTABLE PA

取扱説明書

Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されているすべての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中に入れてください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、必ず付属の電源コードをご使用ください。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源コード等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れが有ります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、差し込むだけで使用できます。
15. 地域の法律に沿ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理はJBLの代理店にて行ってください。

目次

安全上の重要事項.....	2
メンテナンスと修理.....	3
はじめに.....	5
仕様.....	5
開梱とセットアップ.....	6
各部の名称.....	7
ケーブル.....	16
故障かな?と思ったら.....	17

はじめに

この度は JBL EON 208P パーソナル PA をご購入いただき、誠にありがとうございます。EON 208P は、スピーカー、パワー・アンプ、マイクやマイクケーブルなどを1つのパッケージにした PA システムです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

仕様

システム	モデル	EON 208P
	構成	LF: 8 インチ・ウーファー×1 HF: 1 インチ・ツイーター×1
	カバレッジ(水平×垂直)	100° x 60°
	クロスオーバー周波数	2kHz
	クロスオーバータイプ	2-way パッシブネットワーク、 2 次フィルター(12dB カットオフ/オクターブ)
	最大音圧レベル	121dB SPL(ピーク)
	Bluetooth	オーディオ再生
アンプ	クラス D 出力(定格)	300W (150W LF+150W HF)
入力	端子・形式	8 チャンネル(4 モノラル+2 ステレオ) CH1~4: XLR/TRS フォン・コンボ CH5&6: バランス TRS フォン/RCA CH7&8: バランス TRS フォン/3.5mm ステレオミニ
	ファンタム電源 48V	CH1-2
	HI-Z スイッチ	CH3
モニター出力	端子・形式	モニターL/R: バランス TRS フォン(ステレオ)、 RCA(ステレオ) ヘッドホン: 3.5mm ステレオミニ サブウーファー用出力: バランス TRS フォン
EQ		Bass、Treble シェルビングフィルター(±12dB)
リミッター		DSP リミッター搭載
寸法		575x775x400mm(HxWxD)
質量		17.6kg
電源		100V、50/60Hz

開梱とセットアップ

開梱

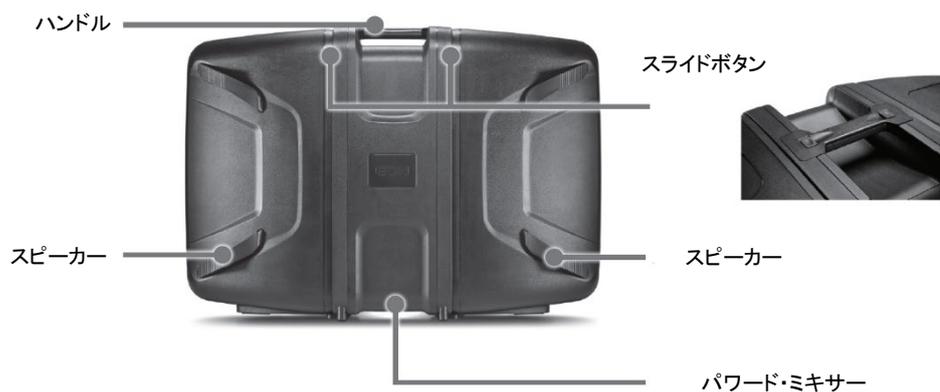
輸送時の破損がないことを確認してください。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。

梱包には次のものが含まれています。

1. スピーカー x 2
2. AKG ボーカルマイク x 1、マイクケーブル x 1、マイククランプ x 1
3. パワード・ミキサー
4. スピーカー・ケーブル (4.5m) x 2
5. 電源コード x 1

各部の名称

システム収納時



スピーカー 前面



背面



パワー・ミキサー

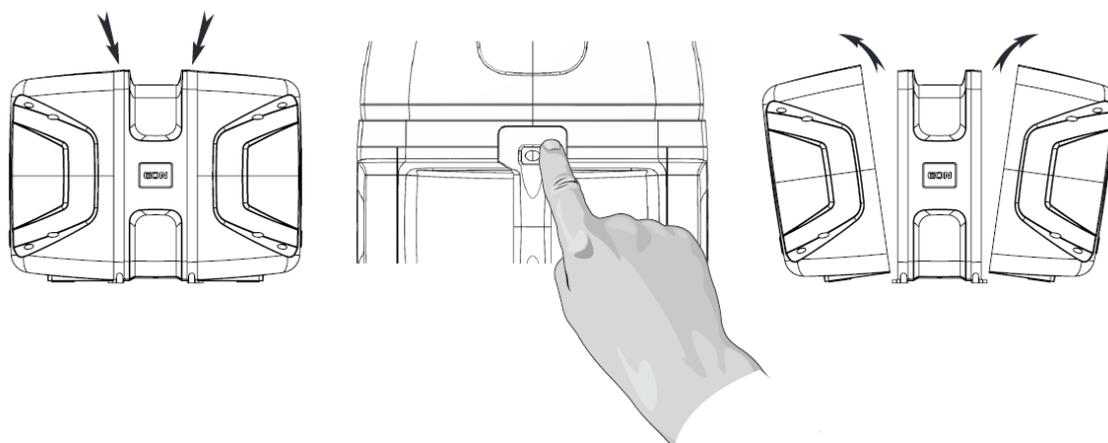
コントロールパネル側



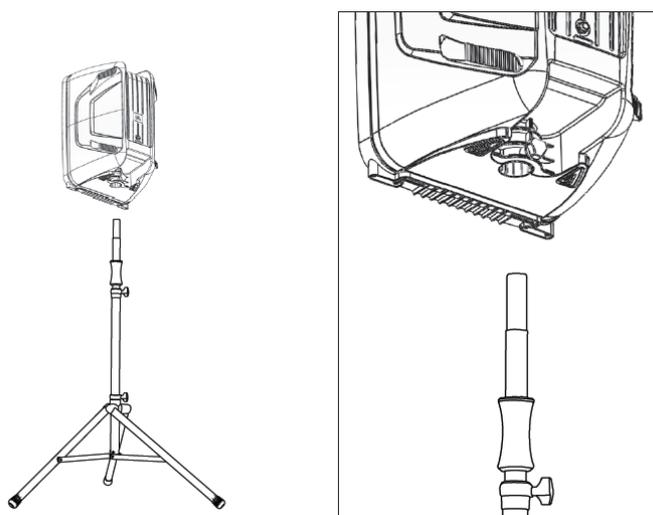
電源端子側



セットアップ概要

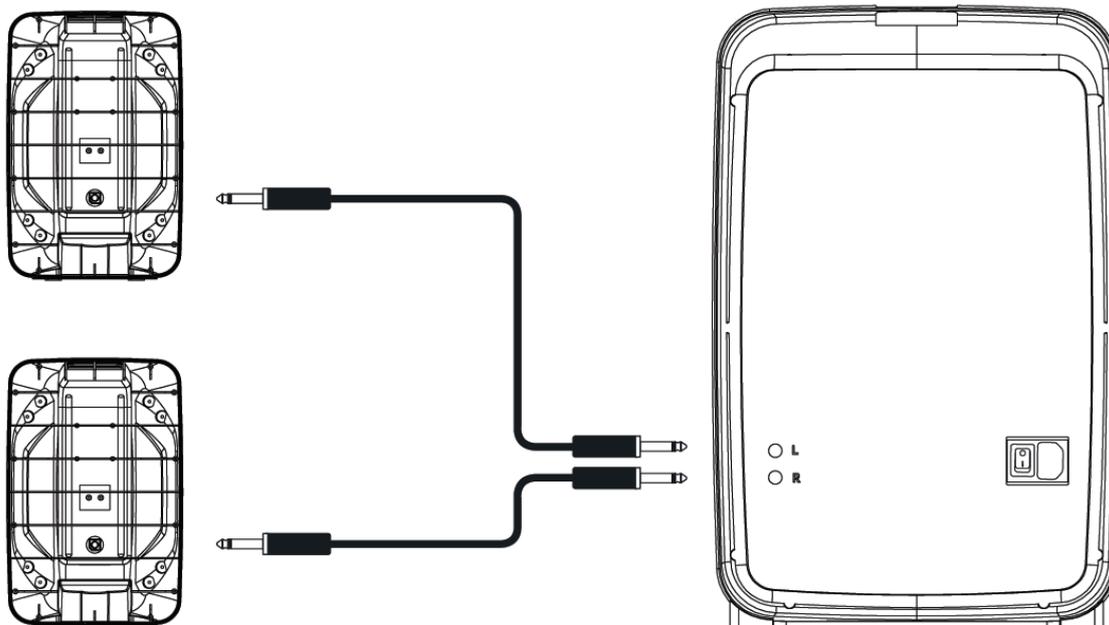


1. 本体を箱から取り出します。
2. 矢印の箇所のスライドボタンを押して、中央のパワード・ミキサーからスピーカーを取り外します。取り外しは安全のため、片方ずつ行ってください。スライドボタンを押すと、スピーカーがパワード・ミキサーから分離します。
3. スピーカー底面には、ポールソケットを装備しています。スピーカースタンドなどを利用して設置してください。(スピーカースタンドは別売りです)。



4. パワード・ミキサーとスピーカーを接続します。

パワード・ミキサーの電源端子側に、2つのフォン端子があります。付属のスピーカーケーブルを使用し、パワード・ミキサーのマスター出力端子とスピーカー入力端子を接続してください。

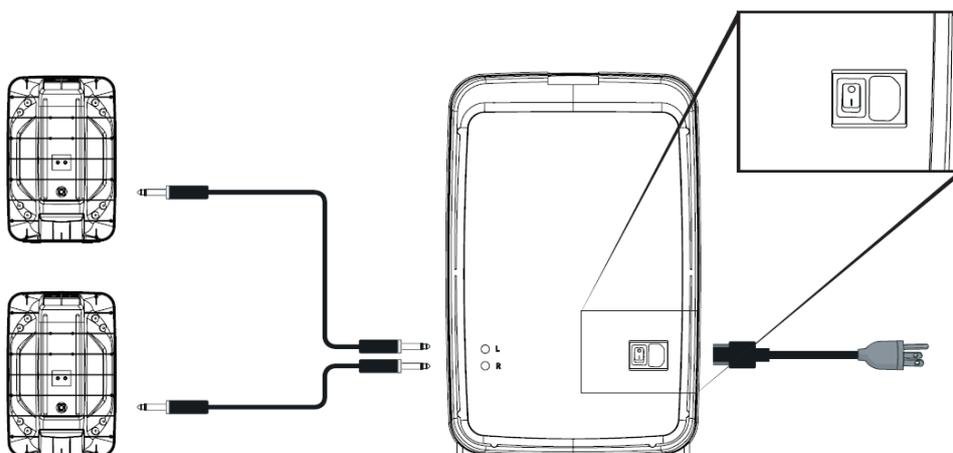


注意

出力端子には付属のスピーカー以外接続しないでください。

接続には必ず付属のスピーカーケーブルをご使用ください。

5. 電源コードを本体に接続してプラグをコンセントに挿し込みます。マスターボリュームを左一杯に回してから、電源スイッチを ON にします。電源 LED が点灯したら準備完了です。

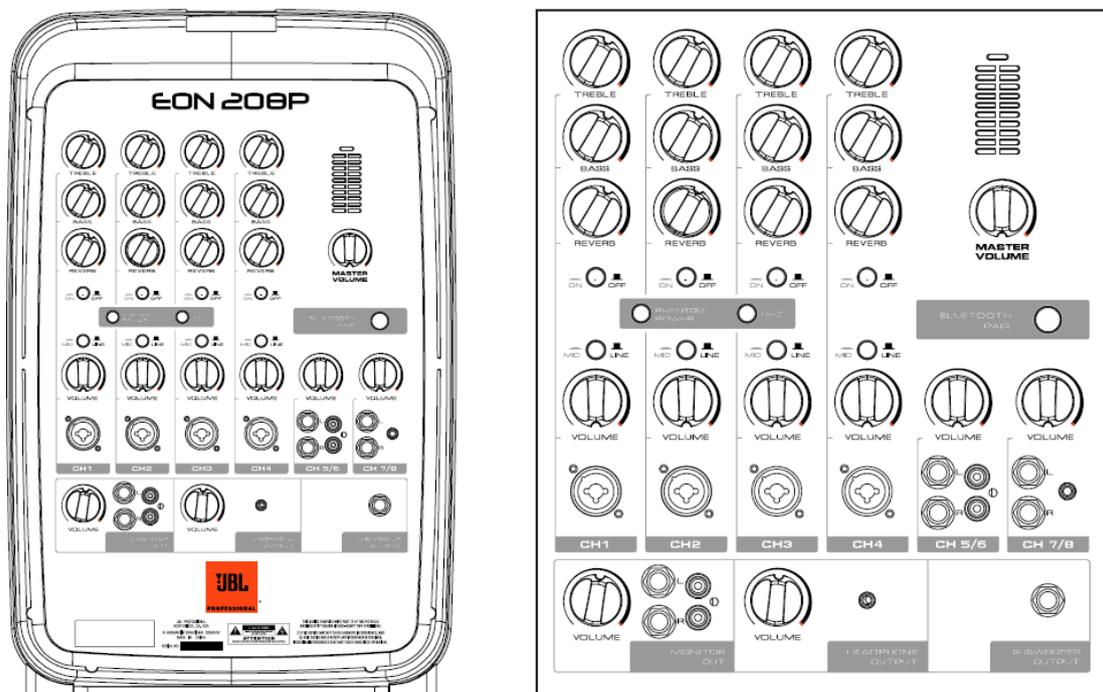


EON 208P パワード・ミキサー

マイク、楽器、Bluetooth 対応機器、外部音源（MP3 プレーヤー、CD プレーヤーなど）を接続しミックスを作ることができます。また、レコーディング機器を接続してレコーディングに使用したり、モニタースピーカー、サブウーファーを接続することもできます。さらに PA システムに接続することも可能です。

基本機能

EON 208P パワード・ミキサーは、様々な音声信号を入力し EQ を付加して、マスター出力やモニター出力に送ることができます。



音声信号入力

全ての入力はパワー・ミキサーを通してスピーカーとモニター出力に送られます。

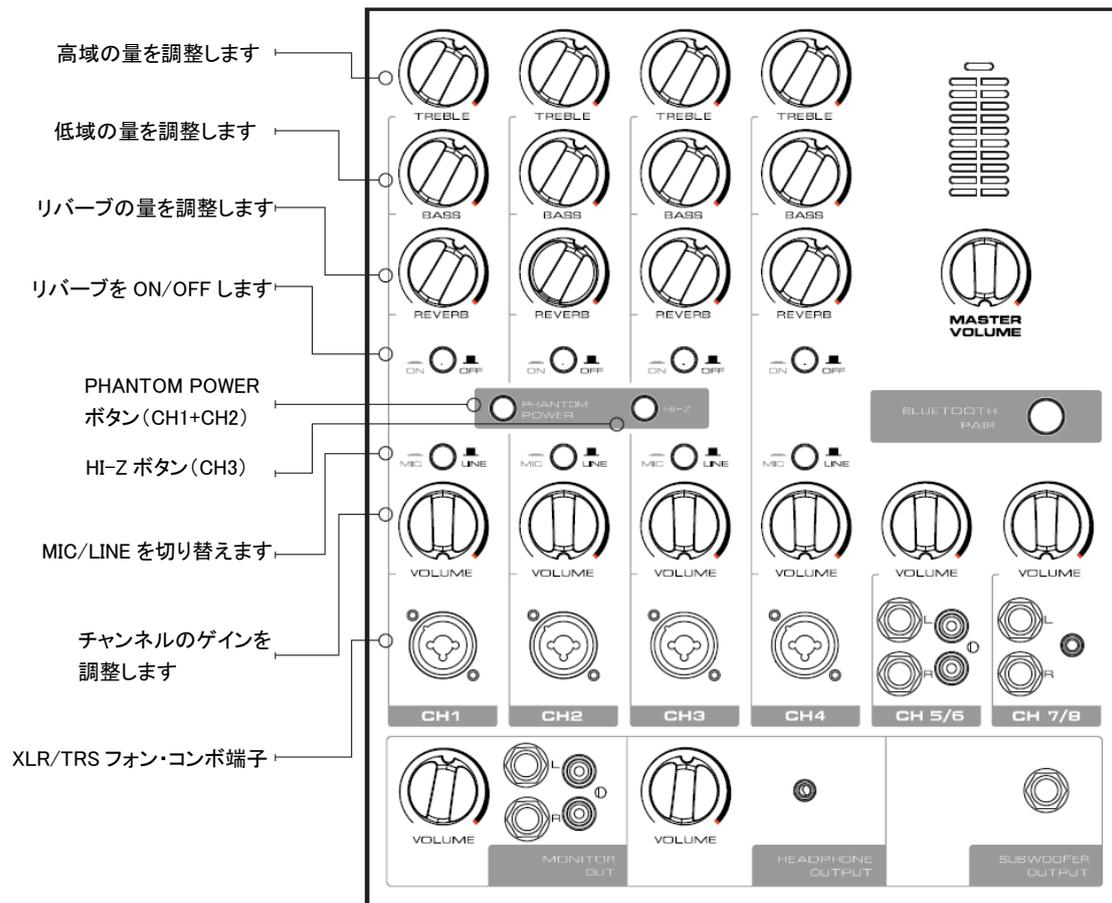
MONO MIC/LINE 入力

4つの入力チャンネルがあり、それぞれに TREBLE、BASS、REVERB、REVERB ON/OFF、VOLUME、MIC/LINE、XLR/TRS フォン・コンボ入力があります。

BLUETOOTH INPUT

Bluetooth 対応機器を接続し再生することができます。

最初に背面パネルにある **BLUETOOTH PAIR** ボタンを押し、本製品の Bluetooth を有効にします。次に、Bluetooth デバイス側から **EON208P** を選択してペアリングを行います。ペアリングが確立すると、**BLUETOOTH LED** が点灯します。音量レベル調整は Bluetooth デバイス側から行います。



ファンタム電源

コンデンサーマイクを使用するときは、PHANTOM POWER ボタンを押して+48V ファンタム電源をコンデンサーマイクに供給します。使用しない場合は必ず OFF にしてください。

ファンタム電源を ON にする手順

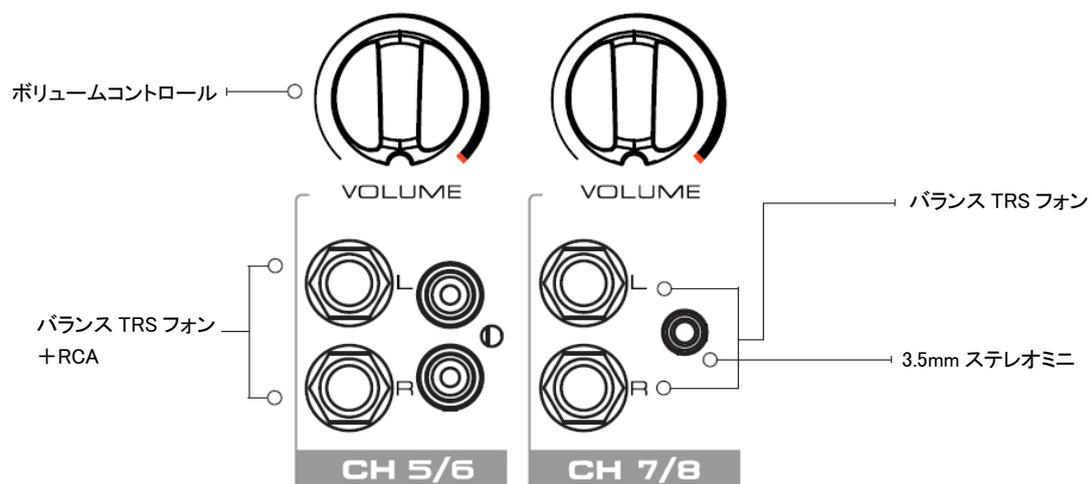
全ての出力ゲインをゼロにしてから PHANTOM POWER ボタンを OFF にし、コンデンサーマイクを接続して最後に PHANTOM POWER ボタンを ON にします。

注意

CH1+CH2 PHANTOM ボタンが ON になっているとき、XLR 端子にアンバランス出力の機器を接続しないでください。故障の原因となることがあります。

ステレオ入力

本製品は 2 組のステレオ入力 (CH5/6、CH7/8) を備えていて、MP3、CD プレーヤー、キーボード、プリアンプ、電子ドラムなどを接続することができます。



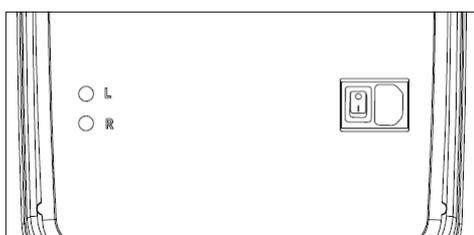
オーディオ信号出力

1. L/R スピーカー出力

EON 208P 専用スピーカーに接続します。

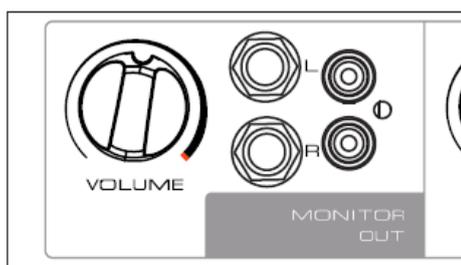
出力端子には付属のスピーカー以外接続しないでください。

接続には必ず付属のスピーカーケーブルをご使用ください。



2. MONITOR OUT

レコーディング機器やモニタースピーカーなどの PA 機器に接続します



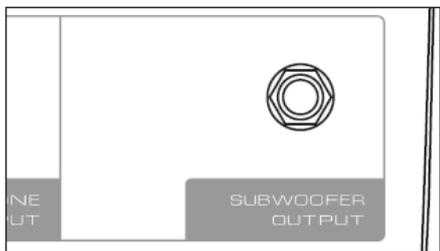
3. HEADPHONE OUTPUT

ヘッドホン用 3.5mm ステレオ出力端子です。



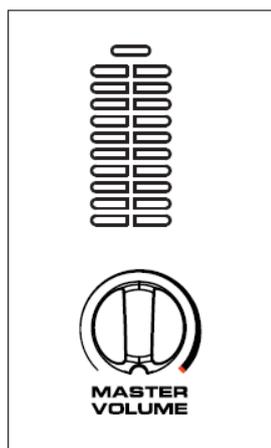
4. SUBWOOFER OUTPUT

サブウーファーを拡張するときに使用します。(バランス TRS フォン)



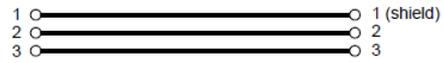
マスターボリューム、リミット LED

システム全体のボリュームをコントロールします。音量は LED バーメーターで表示され、出力がリミットに近づくと黄色 LED が点灯します。



ケーブル

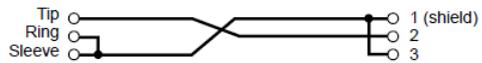
XLR/F – XLR/M マイクケーブル



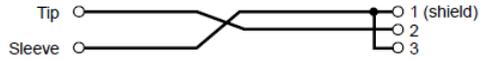
TRS フォン(バランス) – XLR/M



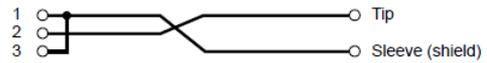
TRS フォン(アンバランス) – XLR/M



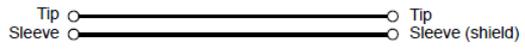
TS フォン(アンバランス) – XLR/M



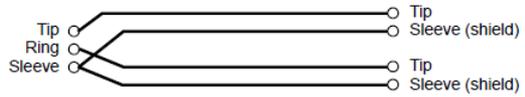
XLR/M – RCA



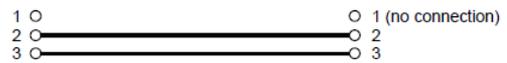
TS フォン(アンバランス) – RCA



TRS フォン(アンバランス) – デュアルフォン



XLR/F – XLR/M グランドリフト・アダプター



故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
電源がONにならない	電源コードがコンセントに差し込まれていない	電源コードをコンセントに差し込んでください
	電源スイッチが ON になっていない	電源スイッチを ON にして POWER LED が点灯することを確認してください
	電源コードに不具合がある	正常な電源コードに交換してください
	コンセントの電圧が AC100V 以下になっている	コンセントの電圧が AC100V になっていることを確認してください
電源が ON になっているのに音が出ない、または非常に小さい	入力信号レベルが小さすぎる	音源のマスターボリュームやゲインを上げてください
	スピーカーのマスターボリュームやゲインが小さすぎる	スピーカーのマスターボリュームやゲインを上げてください
	機器の接続に問題がある	機器を正しく接続してください
	接続ケーブルに不具合がある	正常なケーブルに交換してください
MIC/LINE にマイクを繋いでも音が出ない	MIC/LINE 設定が LINE になっている	MIC/LINE 設定を MIC 側に切り替えてください
音が歪む。	入力信号レベルが大きすぎる	音源の出力信号レベルを下げてください
	スピーカーのマスターボリュームやゲインが大きすぎる	スピーカーのマスターボリュームやゲインを下げてください
ボリュームは十分小さいにもかかわらずノイズが発生する。	ミキサー側が過負荷になっている	ミキサー側の入力ゲインやフェーダーを調整してください
	MIC/LINE 設定が MIC になっている	MIC/LINE 設定を LINE 側に切り替えてください
	接続ケーブルに不具合がある	正常なケーブルに交換してください

	アースが正しく接続 されていない	アース接続を確認する 信号ケーブルを電源コードや照明ケーブル から離してください
	長いアンバランス・ ケーブルを使用して いる	音源に装備されている場合、バランス出力 を使用してください。無い場合は DI ボックスを使用してアンバランス接続を バランス接続に変えてください



※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。
また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。